



2019年8月号



## 最近の県内経済は、緩やかな回復基調にある。

<p><b>個人消費</b></p>	<p><b>個人消費は、回復基調を維持。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月の百貨店・スーパー販売額(速報ベース、店舗調整後)は前年同月比2.7%増と4カ月連続のプラス。百貨店が同1.9%増、スーパーが同2.9%増となった。</li> <li>・6月の各種小売業態販売額は、コンビニエンスストア(全店ベース)が前年同月比1.8%増となった。その他の小売業態(全店ベース、増加率)は、家電大型専門店が同5.7%増、ドラッグストアが同5.9%増、ホームセンターが同1.0%減となった。</li> <li>・6月の乗用車販売は、登録車では普通乗用車が前年同月比12.0%増と3カ月連続のプラス、小型乗用車は同12.8%減と2カ月連続のマイナスとなった。届出車の内、乗用車は同5.3%減と2カ月ぶりのマイナスとなった。この結果、乗用車の合計販売台数は同3.3%減の3,809台と3カ月ぶりのマイナスとなった。</li> </ul>
<p><b>住宅投資</b></p>	<p><b>住宅投資は、減少。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月の新設住宅着工戸数は、前年同月比10.0%減と2カ月連続のマイナスとなった。持家が同6.6%増、貸家が同36.1%減、分譲住宅が同40.5%減となった。</li> </ul>
<p><b>公共投資</b></p>	<p><b>公共投資は、増加。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月の公共工事請負額は、全体で前年同月比22.4%増の197億5,400万円となり、4カ月連続のプラス。国(含む独立行政法人等)が同215.4%増、県が同18.5%減、市町村が同17.9%増となった。</li> </ul>
<p><b>一次産業</b></p>	<p><b>〔農業〕</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農林水産省の発表によると、2018年県産米の相対取引価格(2019年6月)は、「つがるロマン」が前年同月比2.5%上昇の1万5,823円、「まっしぐら」が同1.7%低下の1万4,707円となった。</li> <li>・2018年県産リンゴ販売は、6月の県外出荷量が前年同月比14.3%増、消費地市場価格は同11.7%低下し、県外市場販売額は同1.3%増となった。</li> </ul> <p><b>〔漁業〕</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月の八戸港水揚げは、数量が前年同月比21.0%減、金額が同55.1%減となった。</li> </ul>
<p><b>生産活動</b></p>	<p><b>生産活動は、上昇。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5月の鉱工業生産指数(季節調整値)は、前月比3.7%上昇の114.9となり、2カ月連続で上昇した。電子部品・デバイス、鉄鋼、パルプ・紙などが上昇した。</li> <li>・原指数では、業務用機械、パルプ・紙などが低下したものの、食料品、電子部品・デバイスなどは上昇し、前年同月比1.5%上昇の117.1と4カ月ぶりに前年同月を上回った。</li> </ul>
<p><b>設備投資</b></p>	<p><b>設備投資は、足元減少。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月の建築物着工床面積(民間非居住用)は、前年同月比72.1%減の1万9,817㎡と、3カ月ぶりに前年同月を下回った。</li> </ul>
<p><b>雇用動向</b></p>	<p><b>雇用動向は、改善している。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月の有効求人倍率は、1.21倍となった。前月の1.23倍を0.02ポイント下回ったものの高水準が継続している。</li> </ul>

# 一次産業

## 米

「つがるロマン」は前年同月比上昇するも、「まっしぐら」は低下

農林水産省が発表した「2018年産米の相対取引価格・数量(2019年6月)(速報)」によると、県産米の相対取引価格(玄米60kg当たり税込み価格)は、「つがるロマン」が前年同月比2.5%上昇の1万5,823円、「まっしぐら」は同1.7%低下の1万4,707円となった。

全銘柄平均価格は1万5,702円となり、前月比0.2%低下、前年同月比0.1%上昇となった。価格が最も高かったのは、新潟「コシヒカリ(魚沼)」2万1,699円であった。前年同月比で見ると、上昇幅が大きかったのは、愛媛「コシヒカリ」(9.9%)、愛媛「あきたこまち」(9.8%)、岐阜「ハツシモ」(7.3%)などであった。

### ● 2018年産米(東北・北海道主要銘柄)の相対取引価格の推移

(単位:円/玄米60kg税込、%)

産地	品種	2019年1月	19年2月	19年3月	19年4月	19年5月	19年6月	前月比	18年6月	前年同月比
青森	つがるロマン	14,994	15,208	14,877	15,610	15,558	15,823	1.7	15,438	2.5
	まっしぐら	14,540	14,951	15,000	14,756	14,617	14,707	0.6	14,966	-1.7
岩手	ひとめぼれ	15,399	15,336	15,316	15,372	15,675	15,432	-1.6	15,279	1.0
宮城	ひとめぼれ	15,807	15,610	15,503	15,513	15,476	15,627	1.0	15,606	0.1
秋田	あきたこまち	15,745	15,746	15,894	15,967	15,853	15,969	0.7	16,086	-0.7
山形	つや姫	18,364	18,521	18,512	18,311	18,499	18,600	0.5	18,113	2.7
北海道	ななつぼし	15,925	15,749	16,131	15,944	15,840	16,155	2.0	15,871	1.8
北海道	ゆめぴりか	16,348	15,931	15,968	17,155	16,688	16,458	-1.4	16,882	-2.5
全銘柄平均価格		15,709	15,703	15,722	15,777	15,732	15,702	-0.2	15,692	0.1

資料出所:農林水産省「米穀の取引に関する報告」

(注)相対取引価格は、出荷業者と卸売業者等との間で数量と価格が決定された主食用の相対取引契約の価格(運賃、包装代、消費税相当額を含む1等米の価格)を加重平均。

## りんご

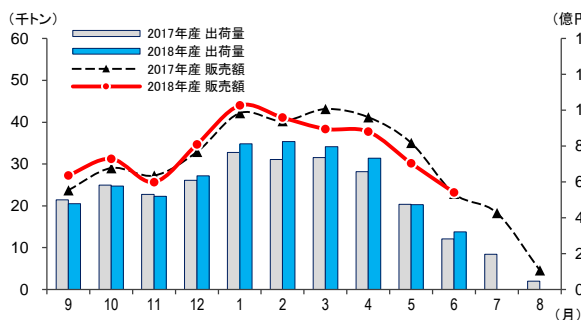
県外市場販売額、前年同月比1.3%増

2018年県産りんご販売、6月の県外出荷量は前年同月比14.3%増の1万3,824トンとなった。これは平年の6月出荷量を3.3%下回る水準である。消費地市場価格は全種平均で、前年同月比11.7%低下、平年比較で4.1%低下の394円/kgとなった。この結果、県外市場販売額は前年同月比1.3%増、平年比較で4.9%低下の54億1,600万円となった。

2018年産県産りんごの消費地市場価格は、出荷量が前年に比べ多かったことなどから、価格は高騰した前年を下回っているものの、4月以降上昇が続いている。

(注)平年とは、月毎の過去5年間の中庸3カ年平均値である。

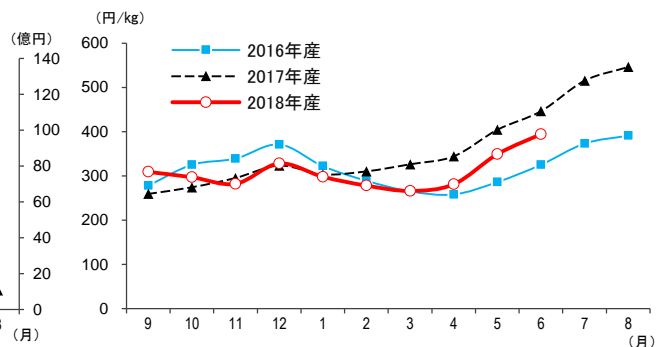
### ● リンゴ販売 県外市場販売動向



資料出所:県りんご果樹課

(注)出荷量:生食用(県外市場、輸出、小口他)  
販売額:小口、加工向けを除く販売額

### ● 消費地市場価格の推移(全種平均)



資料出所:県りんご果樹課

# 一次産業

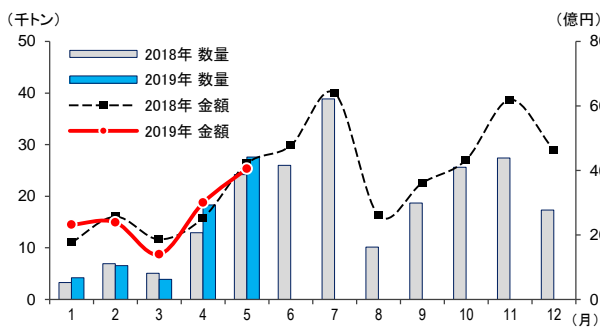
## 海面漁業

漁獲数量は増加するも、金額はマイナス

5月の本県海面漁業は、漁獲数量が前年同月比14.0%増の2万7,630トン、漁獲金額は同3.9%減の40億4,984万円となった。前年同月に比べ、ヤリイカやホタテガイ（稚貝/成貝）等は減少したものの、マイワシ、サバ、ブリ、スケトウタラ、ホタテガイ（半成貝）等が増加したことなどが影響した。

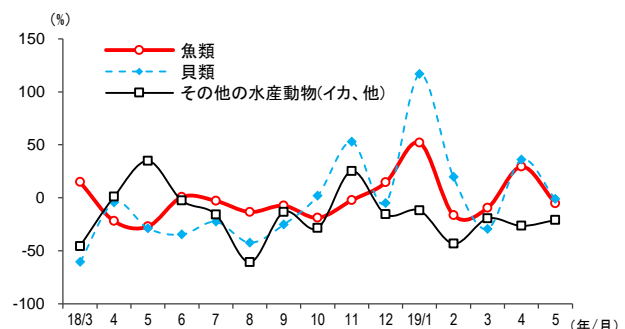
魚種別にみると、「魚類」は、マイワシやサバ等の水揚げが増加したことなどにより、数量が前年同月比37.5%増の2,711トン、金額は同5.2%減の5億2,986万円となった。「貝類」は、ホタテガイ（半成貝）等の水揚げが増加したものの、ホタテガイ（稚貝/成貝）等は減少したことにより、数量が同12.2%増の2万4,081トン、金額は同1.1%減の31億1,591万円となった。「その他の水産動物」は、スルメイカ（近海・生）等の水揚げが増加したもののヤリイカ等が不漁で、数量が同5.2%増の643トンとなる一方、金額は同21.0%減の3億3,465万円となった。

### ● 海面漁業 漁獲数量と金額



資料出所: 青森県農林水産部

### ● 魚種別漁獲金額(前年同月比増加率)



資料出所: 青森県農林水産部

## 八戸港水揚げ

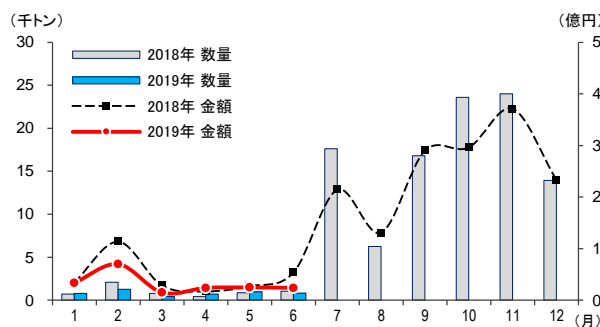
漁獲数量、金額ともにマイナス

6月の八戸港水揚げは、数量が前年同月比21.0%減の847トン、金額は同55.1%減の2億4,143万円となった。

イカ釣り漁は、近海の生スルメイカで、ごく少量の水揚げがみられたのみであった。大中型まき網漁は、水揚げがなかった。

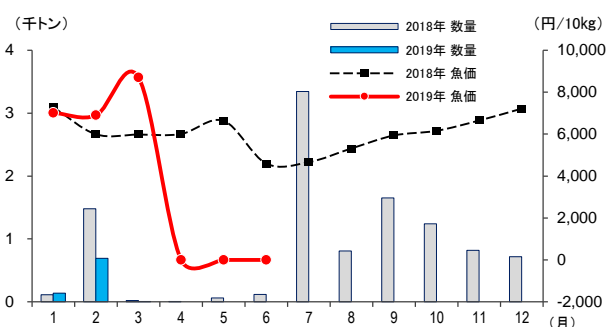
機船底引き網漁は、スケトウタラが豊漁だったものの、単価の高いスルメイカなどの漁獲が少なかったことなどから、数量が同6.1%減の678トン、金額は同58.5%減の1億3,308万円となった。

### ● 八戸港水揚げ高



資料出所: 八戸市水産事務所

### ● イカの水揚げ数量と魚価



資料出所: 八戸市水産事務所

# 二次産業

## 鉱工業生産

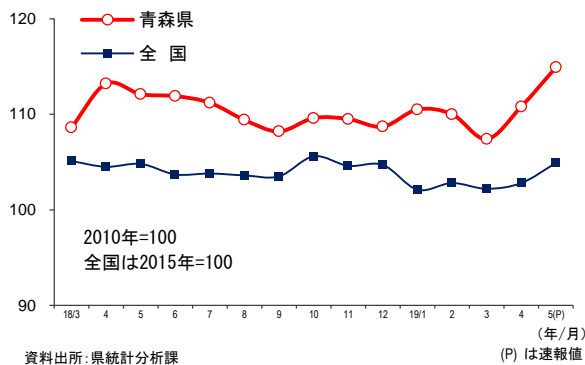
電子部品・デバイスなどが上昇し、2カ月連続の上昇

5月の鉱工業生産指数(季節調整済速報値、2010年=100)は前月比3.7%上昇の114.9となり、2カ月連続で上昇した。

主要6業種では、電子部品・デバイスが前月比11.3%、鉄鋼が同1.5%、パルプ・紙が同1.0%などと上昇した。一方、ウエートの大きい食料品が同3.2%減となったほか、電気機械が同14.6%減、業務用機械が同12.5%減などと低下した。また主要6業種以外では、生産用機械が同168.4%、金属製品が同74.7%、化学工業が同62.5%などと上昇した。

原指数で前年同月と比較すると、業務用機械が同13.8%、パルプ・紙が同8.8%、電気機械が同4.7%などと低下したものの、ウエートの大きい食料品が同3.0%、電子部品・デバイスが同5.1%などと上昇し、全体では同1.5%上昇の117.1と4カ月ぶりに前年同月を上回った。

### ● 鉱工業生産指数



### ● 業種別生産指数 (2019年5月)

業 種 ( )内は一万分比ウエート	季節調整済指数		原 指 数	
	2019年 =100	前月比 (%)	2019年 =100	前年同 月比 (%)
鉱 工 業 (10,000.0)	114.9	3.7	117.1	1.5
食 料 品 (2,410.0)	105.7	△ 3.2	98.8	3.0
鉄 鋼 (1,200.9)	104.3	1.5	116.5	△ 0.9
電子部品・デバイス (1,048.2)	175.6	11.3	158.0	5.1
業務用機械 (1,005.1)	102.8	△ 12.5	93.6	△ 13.8
パルプ・紙 (722.3)	83.8	1.0	87.9	△ 8.8
電気機械 (429.2)	88.8	△ 14.6	102.3	△ 4.7

資料出所: 県統計分析課

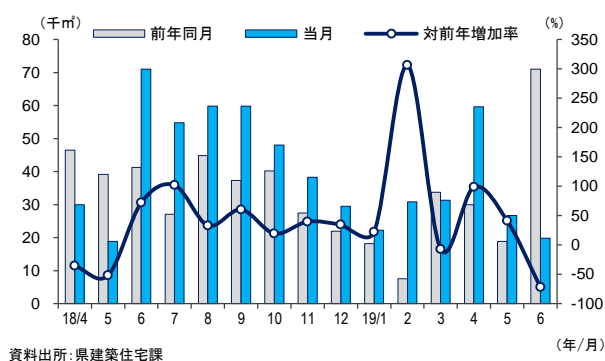
## 設備投資

建築物着工床面積(民間非居住用)、3カ月ぶりのマイナス

6月の建築物着工床面積(民間非居住用)は、前年同月比72.1%減の1万9,817㎡となり、3カ月ぶりに前年同月を下回った。

用途別着工床面積をみると、医療・福祉用が前年同月比94.1%減の161㎡、運輸・通信業用が同90.4%減の1,426㎡、農林水産業用が同89.9%減の1,698㎡、製造業、鉱業、建設業用が同64.0%減の4,820㎡、教育、学習支援業用が同61.7%減の4,471㎡、他に分類されない建築物が同60.5%減の2,438㎡、その他のサービス業用計が同33.7%減の2,537㎡などとなった。一方、卸・小売業用は、前年同月比45.5%増の2,266㎡となった。

### ● 建築物着工床面積(民間非居住用)



### ● 用途別着工床面積(民間非居住用)

用途別	2019年6月 (㎡)	2018年6月 (㎡)	前年同月比 (%)
農林水産業用	1,698	16,842	△ 89.9
製造業、鉱業、建設業用	4,820	13,379	△ 64.0
卸・小売業用	2,266	1,557	45.5
運輸・通信業用	1,426	14,871	△ 90.4
教育、学習支援業用	4,471	11,665	△ 61.7
医療、福祉用	161	2,745	△ 94.1
その他のサービス業用計	2,537	3,824	△ 33.7
他に分類されない建築物	2,438	6,166	△ 60.5
合 計	19,817	71,049	△ 72.1

資料出所: 県建築住宅課

# 二次産業

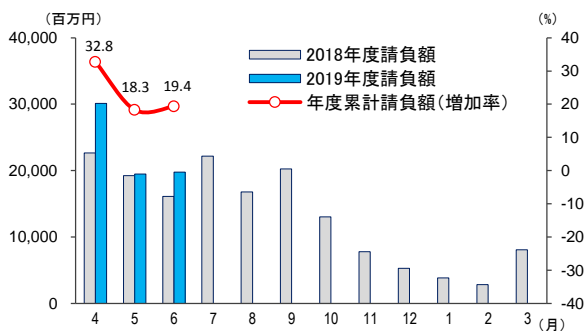
## 公共工事

県が減少するも、国・市町村が増加、4カ月連続プラス

6月の東日本建設業保証(株)の保証取扱いによる公共工事請負額は、前年同月比22.4%増の197億5,400万円となり、4カ月連続のプラスとなった。

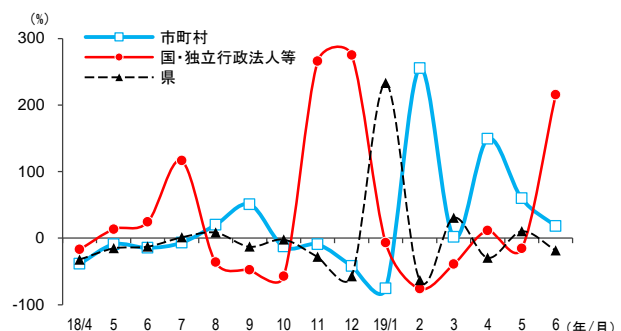
発注主体別の請負額は、国(含む独立行政法人等)は、国土交通省や農林水産省などが増加し、同215.4%増の43億9,300万円となった。県は農林水産部や県土整備部などが減少し、同18.5%減の54億5,900万円となった。市町村は、藤崎町や三沢市などで減少したものの、青森市やつがる市などで増加し、同17.9%増の93億2,500万円となった。

### ● 公共工事請負額



資料出所: 東日本建設業保証(株)

### ● 発注主体別・月別請負額の推移(前年同月比増加率)



資料出所: 東日本建設業保証(株)

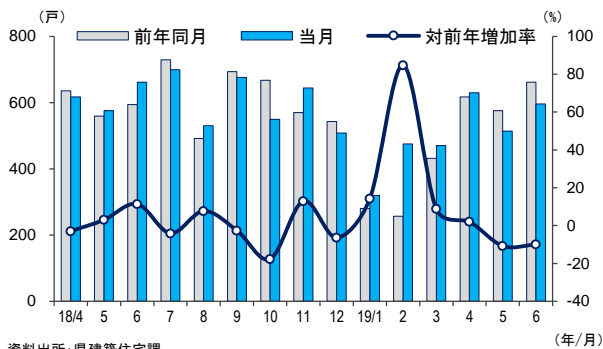
## 住宅着工

新設住宅着工戸数、2カ月連続のマイナス

6月の県内新設住宅着工戸数は、前年同月比10.0%減の596戸となり、2カ月連続のマイナスとなった。利用関係別では、持家が同6.6%増、貸家が同36.1%減、分譲住宅が同40.5%減となった。

地域別にみると、全体ではむつ市や青森市などで増加したものの、八戸市や弘前市などで減少した。持家は、八戸市や弘前市などで減少したものの、青森市や黒石市などで増加した。貸家は、三沢市やむつ市などで増加したものの、八戸市や十和田市などで減少した。分譲住宅は、十和田市などで増加したものの、八戸市や青森市などで減少した。

### ● 新設住宅着工戸数



資料出所: 県建築住宅課

### ● 利用関係別戸数

	(単位: 戸, %)		
	2019年 6月	2018年 6月	前年 同月比
持家	435	408	6.6
貸家	115	180	△ 36.1
給与住宅	2	0	全増
分譲住宅	44	74	△ 40.5
総戸数	596	662	△ 10.0

資料出所: 県建築住宅課

# 三次産業

## 百貨店・スーパー販売

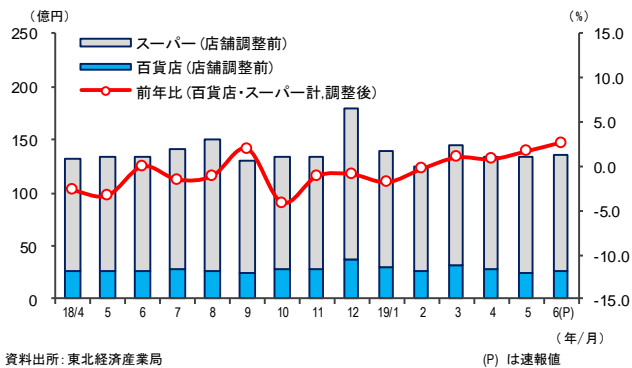
既存店ベース、4カ月連続でプラス

6月の県内百貨店・スーパー販売額(速報ベース、既存店)は、前年同月比2.7%増と4カ月連続でプラスとなった。

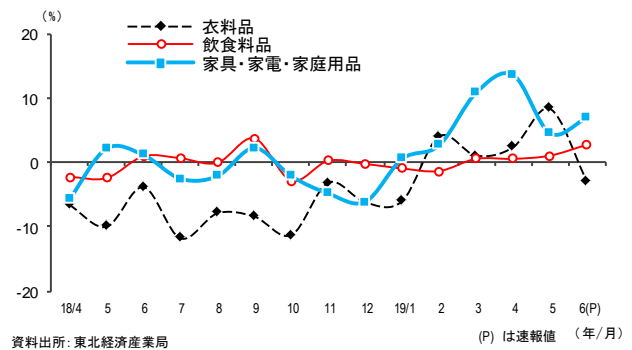
業態別では、百貨店が前年同月比1.9%増、スーパーは同2.9%増と、ともにプラスとなった。なお、百貨店の全店ベース売上高は同6.1%減となり、一部百貨店の全館休業の影響が続いている。

品目別では、ボリュームの大きい飲食料品は百貨店が同3.4%増、スーパーが同2.7%増となり、全体では同2.8%増となった。また、家具・家電・家庭用品は、エアコンの好調が持続していることなどから、同7.0%増と好調だった。一方衣料品は、中旬以降の天候不順から夏物衣料の動きが鈍く、全体では同2.9%減と不冴えな動きとなった。

### 百貨店・スーパー販売動向



### 品目別売上高(既存店、増加率)



## 各種小売業態販売額

ホームセンター、再びマイナス

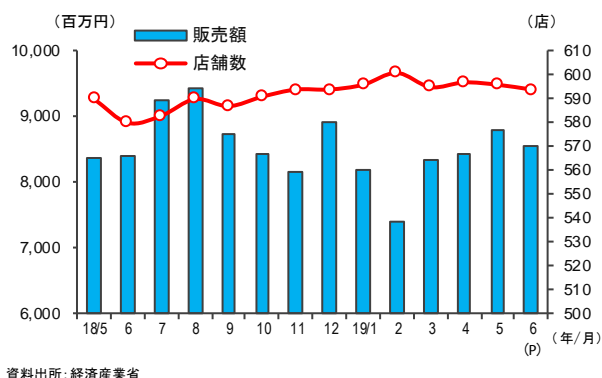
6月の各種小売業態販売額は、コンビニエンスストア、家電大型専門店、ドラッグストアでプラスとなった一方、ホームセンターはマイナスとなった。

コンビニエンスストア販売額(全店ベース)は、前年同月比1.8%増の85億6,500万円と8カ月連続でプラス基調を維持している。

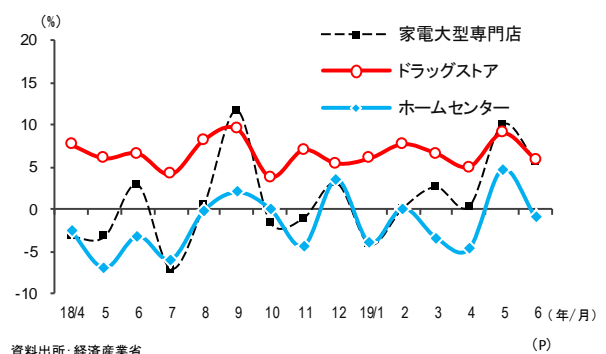
その他の小売業態販売動向(全店ベース、増加率)では、家電大型専門店が、引き続きパソコンや新型エアコンの動きが活発で、同5.7%増と5カ月連続のプラスとなった。また、ドラッグストアは食料品や日用品類の需要を他業態から取込む流れが持続しており、同5.9%増とプラス基調が継続している。一方、ホームセンターは中旬以降の天候不順からガーデニング関連商品の動きが鈍く、前年同月比1.0%減と再びマイナスに転じた。

(注) 本項はすべて速報値である。

### コンビニエンスストアの販売動向と店舗数



### その他の小売業態販売動向(全店ベース、増加率)



# 三次産業

## 自動車販売

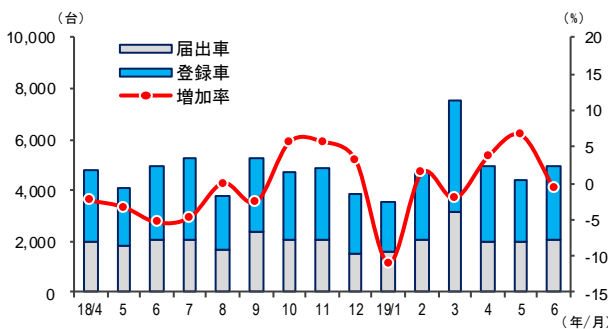
乗用車販売台数、3カ月ぶりマイナス

6月の自動車販売台数は、届出車(軽自動車)が前年同月比0.6%減と2カ月ぶりのマイナス、登録車が同0.9%減と5カ月ぶりのマイナスとなった。この結果、新車販売合計は同0.8%減の4,926台と、3カ月ぶりに前年同月を下回った。

内訳別にみると、登録車は普通乗用車が新車投入効果から前年同月比12.0%増と3カ月連続のプラス、小型乗用車が同12.8%減と2カ月連続のマイナスとなった。また、届出乗用は同5.3%減と再びマイナスに転じた。この結果、乗用車の登録・届出車合計販売台数は同3.3%減の3,809台と3カ月ぶりにマイナスとなった。

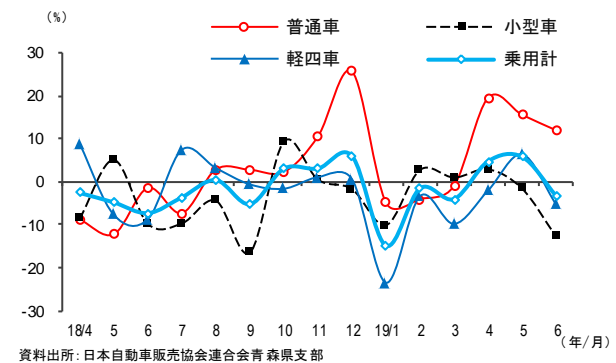
なお、登録貨物車は同16.1%増と2カ月連続のプラス、届出貨物車は同12.2%増と5カ月連続のプラスとなっている。

### 自動車販売動向



資料出所: 日本自動車販売協会連合会青森県支部

### 乗用車販売動向(増加率)



資料出所: 日本自動車販売協会連合会青森県支部

## 観光動向

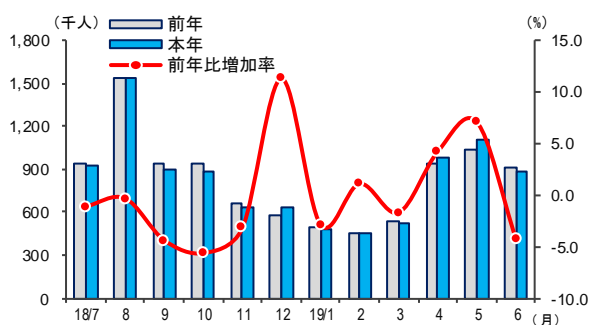
観光施設入込数、宿泊者数ともに前年比マイナス

6月の県内観光動向は、観光施設入込数、宿泊者数ともに前年比マイナスとなった。

県内観光施設35カ所の入込数は、前年同月比4.2%減の87万9,417人と、3カ月ぶりにマイナスとなった。施設別では、アスパム(前年同月比7.5%増)、弘前市立観光館(同16.2%増)、八食センター(同3.9%増)などでプラス基調を維持した一方、浅虫水族館は8カ月ぶり、太宰治記念館「斜陽館」は7カ月ぶりにマイナスに転じた。

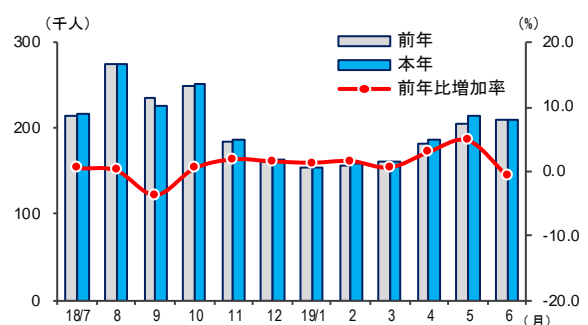
また、県内80施設の宿泊者数は、前年同月比0.7%減の20万8,836人と、9カ月ぶりにマイナスとなった。地域別では、八戸市内(18施設)が同3.4%増の4万4,148人、西北地域(10施設)が同1.3%増の2万4,534人、上北地域(9施設)が同2.7%増の4万1,399人などプラス計上した。一方、青森市内(12施設)が同5.4%減の3万1,094人、弘前市内(17施設)が同3.8%減の4万3,985人などマイナスとなった。

### 県内35施設入込数(12月までは34施設)



資料出所: 県観光国際戦略局観光企画課

### 県内80施設宿泊者数(12月までは79施設)



資料出所: 県観光国際戦略局観光企画課



# 物価・雇用・金融

## 消費者物価指数

前月比 0.1%上昇、食料、被服及び履物など上昇

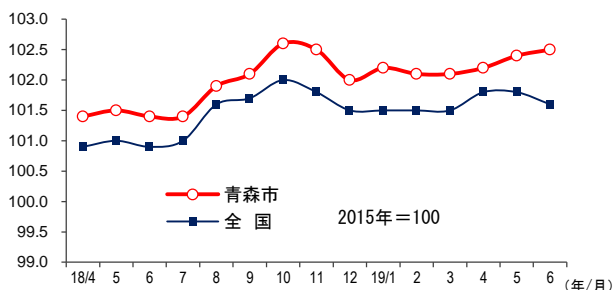
6月の青森市の消費者物価指数(2015年=100)は、前月比 0.1%上昇、前年同月比 1.1%上昇の 102.5 となった。

主要費目別に前月と比べると、ウエートの大きい「食料」が魚介類、生鮮果物、菓子類などの値上がりなどにより 1.1%上昇、「被服及び履物」はシャツ・セーター・下着類などの値上がりにより 1.0%上昇、「教養娯楽」は教養娯楽サービスの値上がりなどにより 0.3%上昇した。一方、「家具・家事用品」は寝具類の値下がりなどにより 2.6%低下、「交通・通信」は通信料の値下がりなどにより 0.8%低下、「光熱・水道」は電気代の値下がりにより 0.2%低下した。

前年同月比では、「家具・家事用品」(3.4%)、「被服及び履物」(3.0%)、「食料」(2.5%)、「光熱・水道」(1.6%)、「住居」(0.6%)などで上昇した。一方、「交通・通信」(△1.6%)、「保健医療」(△0.5%)は下落した。

生鮮食品を除く総合指数は、前月比横ばい、前年同月比 0.7%上昇の 102.7 となった。

### ● 消費者物価指数



資料出所: 県統計分析課

### ● 費目別指数の動き(2019年6月)

	指数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総合指数	102.5	0.1	1.1
生鮮食品を除く総合指数	102.7	0.0	0.7
食料	105.1	1.1	2.5
住居	100.5	0.0	0.6
光熱・水道	104.5	△ 0.2	1.6
家具・家事用品	102.0	△ 2.6	3.4
被服及び履物	104.2	1.0	3.0
保健医療	102.1	0.0	△ 0.5
交通・通信	98.2	△ 0.8	△ 1.6
教育	102.9	0.0	0.2
教養娯楽	102.3	0.3	0.3
諸雑費	103.5	△ 0.1	1.5

資料出所: 県統計分析課

## 雇用動向

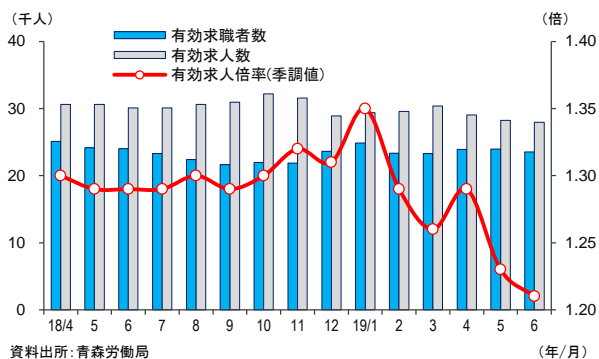
有効求人倍率 1.21 倍、前月を 0.02 ポイント下回る

6月の求人・求職動向は、有効求人数が前年同月比 7.2%減の 2万 7,945 人、有効求職者数は同 1.9%減の 2万 3,560 人となった。有効求人倍率(季節調整値)は 1.21 倍となり、前月を 0.02 ポイント下回った。

新規求人の動きをみると、常用求人数が前年同月比 9.5%減、臨時・季節求人数が同 10.3%減、パート求人数が同 9.6%減となり、全数では同 9.6%減の 1万 73 人となった。新規求人倍率(季節調整値)は 1.58 倍となり前月を 0.03 ポイント下回った。

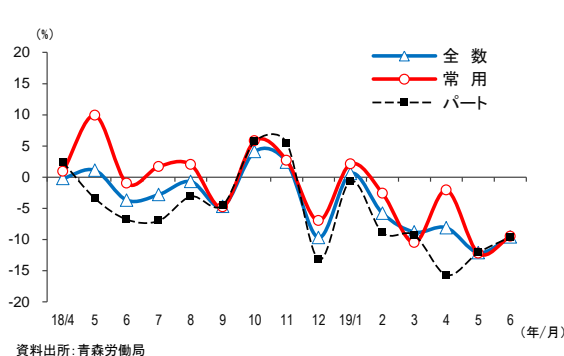
主要産業別の新規求人動向を前年同月比で見ると、建設業、製造業、情報通信業、卸売業、小売業、不動産業、物品賃貸業、飲食サービス業、教育、学習支援業、社会保険・社会福祉・介護事業など幅広い業種で減少した。一方、宿泊業、学術研究、専門・技術サービス業、生活関連サービス業、娯楽業では増加がみられた。

### ● 有効求人倍率



資料出所: 青森労働局

### ● 新規求人数の増加率



資料出所: 青森労働局

# 物 価 ・ 雇 用 ・ 金 融

## 企業倒産

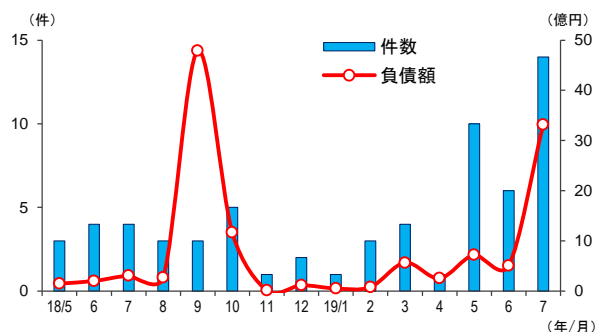
倒産件数、負債総額ともに3カ月連続で前年を上回る

7月の県内企業倒産は、件数が14件、負債総額が33億1,900万円となり、前年同月比で件数が10件(250.0%)増、負債総額が30億1,400万円(988.2%)増だった。前月比では件数が8件(133.3%)増、負債総額が28億1,100万円(553.4%)増となった。件数は今年2度目の二桁を記録、負債総額は25億円の大型倒産が発生し今年最高額を記録した。倒産件数、負債総額ともに3カ月連続で前年を上回り、倒産の発生が徐々に増加する兆しが窺われる。

地区別では、弘前市が5件、青森市が3件、八戸市、平川市が各2件、十和田市、下北郡が各1件の発生だった。業種は建設業、製造業、卸売業、小売業、不動産業、サービス業が各2件、金融・保険業、運輸業が各1件だった。原因は販売不振が6件、既往のシワ寄せが4件、放漫経営、過小資本、他社倒産の余波、その他が各1件だった。

なお7月の従業員被害者数は69人となり、1月からの累計では185人となった。

### ● 企業倒産状況



資料出所: 東京商工リサーチ

(注) 負債総額1千万円以上

### ● 業種別・原因別件数 (2019年7月)

業 種	件 数	原 因	件 数
一次産業・鉱業	0	放漫経営	1
建設業	2	過小資本	1
製造業	2	他社倒産の余波	1
卸売業	2	既往のシワ寄せ	4
小売業	2	信用低下	0
金融・保険業	1	販売不振	6
不動産業	2	売掛金回収難	0
運輸業	1	在庫状況悪化	0
情報通信業	0	設備投資過大	0
サービス業 他	2	その他	1
合 計	14	合 計	14

資料出所: 東京商工リサーチ (負債総額1千万円以上)

## 金融動向

5月末の貸出約定平均金利、総合で1.102%

5月末の県内金融機関(銀行・信用金庫・信用組合)の預金・貸出金残高は、実質預金が前年同月比1.2%増の5兆1,664億円、貸出金は同0.2%増の3兆183億円とそれぞれ増加した。預金、貸出ともに73カ月連続のプラスとなった。

5月の県内金融機関の貸出約定平均金利(銀行・信用金庫の加重平均)は、月末水準で長期金利が1.075%、短期金利が1.843%、総合で1.102%となった。前月比で長期金利が0.009ポイント低下、短期金利は0.038ポイント上昇し、総合では0.010ポイント低下した。

### ● 貸出約定平均金利の前月(期)比変化幅の推移

	総 合	(%ポイント)	
		長 期	短 期
2018/ 1-3	▲ 0.019	▲ 0.016	▲ 0.090
4-6	▲ 0.021	▲ 0.021	0.119
7-9	▲ 0.011	▲ 0.013	▲ 0.036
10-12	▲ 0.007	▲ 0.011	0.004
2019/ 1-3	▲ 0.014	▲ 0.010	▲ 0.096
2019/ 2	▲ 0.007	▲ 0.006	0.010
3	▲ 0.002	▲ 0.001	▲ 0.092
4	▲ 0.005	▲ 0.004	0.053
5	▲ 0.010	▲ 0.009	0.038
5月末水準(%)	1.102%	1.075%	1.843%

# 国内景気

## 概況

—国内景気は、輸出を中心に弱さが続いているものの、緩やかに回復している。—  
個人消費は持ち直している。設備投資はこのところ機械投資に弱さもみられるが、緩やかな増加傾向にある。住宅建設は概ね横ばいとなっている。公共投資は底堅い動きとなっている。輸出は弱含んでいる。貿易・サービス収支は赤字となっている。生産はこのところ横ばいとなっているものの、一部に弱さが続いている。企業収益は高い水準で底堅く推移。企業の業況判断は製造業を中心に慎重さが増している。倒産件数は概ね横ばい。雇用情勢は着実に改善。国内企業物価はこのところ緩やかに下落。消費者物価はこのところ緩やかに上昇している。

## 百貨店・スーパーの動向(既存店ベース)

—前年同月比 0.5%減—  
6月の百貨店・スーパー販売額は1兆5,977億円(速報)となり、既存店ベースでは前年同月比 0.5%減となった。業態別にみると、百貨店が同 1.2%減、スーパーが同 0.1%減となった。商品別にみると、衣料品が同 1.3%減、飲食品が同 0.2%増、その他商品が同 1.7%減となった。

## 住宅建設

—前年同月比 0.3%増、3カ月ぶりの増加—  
6月の新設住宅着工戸数は、前年同月比 0.3%増の8万1,541戸と3カ月ぶりに増加した。利用関係別では、持家が同 12.9%増と9カ月連続の増加、貸家が同 12.2%減と10カ月連続の減少、分譲住宅が同 7.8%増と3カ月ぶりの増加となった。

## 企業倒産

—6月では90年以降4番目に少ない倒産件数—  
6月の企業倒産は、件数が前年同月比 6.4%増の734件、負債総額は同 60.4%減の869億5,700万円となった。倒産件数は5カ月ぶりに前年を上回ったものの、6月としては90年以降で4番目に少ない件数であった。負債総額は、3カ月ぶりに前年を下回り、6月としては30年ぶりに1,000億円を下回った。負債100億円以上の倒産はゼロで、小口倒産を中心に推移した。

## 為替動向

—7月末終値 108円 55銭—  
7月の東京外国為替市場は、前月末比 0.69円安の108.32円でスタート。その後好調な米国雇用統計を背景に108円台後半まで円安に振れた。中旬は、米国利下げ観測から金利差縮小を意識し円が買われ107.64円まで円高が進行。下旬は、米中貿易摩擦への懸念後退から円が売られた。月末終値は108円 55銭。

## 鉱工業生産指数

—3カ月ぶりに低下、前月比 3.6%低下—  
6月の鉱工業生産指数は前月比 3.6%低下の101.1(速報、季節調整値)と3カ月ぶりの低下となった。原指数は前年同月比 4.1%低下の101.2となった。前月比では無機・有機化学、石油・石炭製品などが上昇し、自動車、生産用機械、電気・情報通信機械などは低下した。なお7月は輸送機械(除.自動車)、はん用・業務用機械、電気・情報通信機械などの低下により前月比 2.7%の上昇を予測している。

## 新車販売(除く軽自動車)

—2カ月ぶりに減少、前年同月比 0.9%減—  
6月の国内新車販売は前年同月比 0.9%減の29万225台と2カ月ぶりに減少した。乗用車が同 1.8%減、貨物車が同 4.3%増となった。乗用車は普通乗用車が同 1.4%増と3カ月連続の増加、小型乗用車は同 5.5%減と7カ月連続の減少となった。

## 完全失業率

—完全失業者数、2カ月ぶりに減少—  
6月の完全失業率(季節調整値)は、前月比 0.1ポイント低下の2.3%となった。完全失業者数は前年同月比6万人減の162万人となり、2カ月ぶりに減少した。求職理由別にみると、勤め先や事業の都合が前年同月比1万人減の22万人、自己都合が同3万人減の66万人などとなった。

## 消費者物価指数

—前年同月比 0.7%上昇の 101.6—  
6月の消費者物価指数は総合指数が前年同月比 0.7%上昇、前月比(季節調整値)横ばいの101.6となった。前年同月に比べ、生鮮果物、菓子類、外食、電気代、ガス代、ルームエアコン、外国パック旅行費、たばこなどが上昇し、携帯電話通信料などは下落した。生鮮食品を除く総合指数は、前年同月比 0.6%上昇、前月比(季節調整値)0.1%下落の101.6となった。

## 国際収支

—経常収支、前年同月比-0.0%—  
6月の経常収支額は前年同月比-0.0%の1兆2,112億円と微減した。第一次所得収支が黒字幅を縮小したこと等から、黒字幅を縮小した。経常収支の内訳は、貿易・サービス収支が8,102億円の黒字、第一次所得収支が4,273億円の黒字、第二次所得収支が263億円の赤字となった。

県内

7/1 県内路線価、下落幅縮小

仙台国税局は、相続税などの税額を算定する際の基準となる路線価(1㎡当たり、2019年分)を公表した。県内7税務署管内それぞれの最高路線価では、前年比で上昇したのはむつ税務署管内の1地点、下落したのは五所川原税務署管内の1地点、ほか5税務署管内は横ばいだった。

さくらんぼ新品種「ジュノハート」、初競りで1粒1万円

青森県独自のさくらんぼ新品種ジュノハートの初競りが八戸市中央卸売市場で行われ、特大サイズ1箱(15粒入り)が15万円の最高値を付け、市場デビューを飾った。

7/4 県内「農泊」、一般旅行者は過去最多

県によると、2018年度にグリーンツーリズムを目的に農家などに宿泊した旅行者数が、前年度比713人減の5,945人となった。内訳は、修学旅行など教育目的が3,926人で前年度比1,347人減少した一方で、一般旅行者は国内が同127人増の1,332人、海外が同507人増の687人と過去最多となった。

7/11 夏休みの旅行先、本県伸び率全国2位

旅行関連の検索サイトを運営するスカイキャナージャパン(株)が、今年の夏休み期間(7月15日～8月31日)の航空予約席数の伸び率から「人気急上昇の旅行先トップ5」を発表した。本県は前年同期比204%増で全国2位となった。

7/22 「十和田湖温泉郷」の名称、「奥入瀬渓流温泉」に変更

十和田市焼山地区の宿泊施設で構成される十和田湖温泉郷旅館組合と地元町内会は、半世紀以上にわたり使用してきた温泉地の呼称「十和田湖温泉郷」を、2020年4月から「奥入瀬渓流温泉」に変更すると発表した。

国内

7/1 消費者態度指数、9カ月連続悪化

内閣府が発表した6月の消費動向調査によると、消費者心理を反映する消費者態度指数(2人以上の世帯、季節調整値)は前月比0.7ポイント低下の38.7となった。前月を下回るのは9カ月連続となる。

7/5 景気動向指数による基調判断、「下げ止まり」に上方修正

内閣府が発表した5月の景気動向指数(速報値)は、景気の現状を示す一致指数が前月比1.1ポイント上昇の103.2となった。3カ月単位の推移などから機械的に判断する基調判断は、これまで2カ月連続の「悪化を示している」から上方修正し「下げ止まり」とした。

7/8 街角景気、2カ月連続悪化

内閣府が発表した6月の景気ウォッチャー調査によると、足元の景況感を示す現状判断指数(季節調整値)は前月比0.1ポイント低下の44.0と、2カ月連続で悪化した。景気の好不調の目安となる50を18カ月連続で下回っている。

機械受注、外需のマイナス続く

内閣府が発表した5月の機械受注統計(季節調整済)によると、船舶・電力を除く民需の受注額は前月比7.8%減の8,429億円だった。うち海外からの受注を示す外需は同0.8%減の8,015億円と、前月の同24.7%の急減から2カ月連続の減少となった。

経常収支の黒字幅減少

財務省が発表した5月の国際収支統計(速報)によると、海外とのモノやサービスなどの取引を表す経常収支は前年同月比15.8%減の1兆5,948億円の黒字となった。

7/23 月例経済報告、総括判断据え置き

内閣府は7月の月例経済報告で「景気は、輸出を中心に弱さが続いているものの、緩やかに回復している」とし、総括判断を維持した。

# 全国の主要経済指標

年次及び月	日銀券発行高 (平均残高) (億円)	国内銀行勘定(月末)		国内銀行 貸出約定 平均金利 (年利%)	景気動向 指数(一致) 2015年=100	国内企業 物価指数 2015年=100	消費者 物価指数 2015年=100	鉱工業 生産指数 2015年=100	機械受注 (季調済) (億円)	公共工事 請負額 (億円)
		実質預金 (10億円)	貸出残高 (10億円)							
2014 (H26)	930,818	660,844	461,147	1.180	-	102.4	99.2	101.2	96,920	165,257
2015 (H27)	984,300	679,106	475,937	1.110	-	100.0	100.0	100.0	100,891	149,257
2016 (H28)	1,024,612	734,342	491,573	0.998	-	96.5	99.9	100.0	102,600	154,200
2017 (H29)	1,067,165	763,244	505,238	0.946	-	98.7	100.4	103.1	101,431	157,209
2018 (H30)	1,103,625	779,084	515,480	0.901	-	101.3	101.3	104.1	105,091	144,020
2018 (H30) 4	1,039,157	785,533	508,285	0.929	104.1	100.6	100.9	104.5	9,171	8,381
5	1,040,264	783,957	506,612	0.927	103.9	101.1	101.0	104.8	9,063	8,924
6	1,037,681	781,870	510,149	0.921	103.5	101.3	100.9	103.7	8,348	12,565
7	1,044,800	773,451	509,569	0.918	102.9	101.8	101.0	103.8	9,128	12,098
8	1,046,482	772,577	508,515	0.917	102.9	101.8	101.6	103.6	9,754	12,715
9	1,045,699	776,734	512,171	0.912	101.8	102.0	101.7	103.5	8,100	15,216
10	1,047,072	774,577	509,514	0.912	103.9	102.4	102.0	105.6	8,720	13,066
11	1,050,606	779,129	511,618	0.909	102.3	102.1	101.8	104.6	8,714	10,238
12	1,077,249	779,084	515,480	0.901	101.3	101.4	101.5	104.7	8,692	10,737
2019 (H31) 1	1,079,375	776,081	512,080	0.900	100.4	100.9	101.5	102.1	8,223	10,843
2	1,066,271	776,595	512,069	0.898	101.5	101.2	101.5	102.8	8,367	10,291
3	1,072,160	792,224	518,432	0.891	101.1	101.5	101.5	102.2	8,688	23,228
4	1,087,111	793,654	518,441	0.888	102.1	101.8	101.8	102.8	9,137	8,921
(R1) 5	1,087,770	793,065	516,238	0.886	103.4	101.7	101.8	104.9	8,429	9,303
6	1,069,431			0.882	P 100.4	101.2	101.6	P 101.1	9,603	15,452
前月比 %	-1.7	-0.1	-0.4	-0.004 ※イント	-3.0 ※イント	-0.5	0.0	-3.6	13.9	66.1
前年同月比%	3.1	1.2	1.9	-0.039 ※イント	-	-0.1	0.7	-4.1	12.5	23.0
資料出所	日本銀行			内閣府	日本銀行	総務省	経済産業省	内閣府	国土交通省	

※日銀券発行高の年次は年末残高の数値

※消費者物価指数の前月比は季節調整値による

※鉱工業生産指数の前年同月比及び年次は原指数による

※機械受注は、船舶・電力を除く民需、前年同月比は原系列による

年次及び月	新設住宅 着工戸数 (戸)	新車登録 届出回数 (乗用車) (千台)	百貨店・ スーパー 販売額 (億円)	企業倒産		完全 失業率 (季調済) (%)	国際収支 (経常) (億円)	東京 外為相場 (月中平均) (円/US\$)	日経 平均株価 (東証1部 225銘柄) (円)	日経 商品指数 (月末42種) 1970年=100
				件数 (件)	負債総額 (億円)					
2014 (H26)	892,261	4,699	201,973	9,731	18,741	3.6	39,215	105.79	17,450.77	183.036
2015 (H27)	909,299	4,216	200,491	8,812	21,124	3.4	165,194	121.09	19,033.71	160.852
2016 (H28)	967,237	4,146	195,979	8,446	20,061	3.1	213,910	108.77	19,114.37	168.833
2017 (H29)	964,641	4,386	196,025	8,405	31,676	2.8	226,067	112.13	22,764.94	184.488
2018 (H30)	942,370	4,391	195,998	8,235	14,855	2.4	192,222	110.40	20,014.77	180.684
2018 (H30) 4	84,226	305	15,565	650	955	2.5	18,865	107.43	22,467.87	186.501
5	79,539	308	15,664	767	1,044	2.2	18,951	109.69	22,201.82	186.685
6	81,275	375	16,030	690	2,195	2.4	12,115	110.03	22,304.51	185.395
7	82,615	369	17,002	702	1,127	2.5	20,269	111.37	22,553.72	184.270
8	81,860	302	15,751	694	1,213	2.4	18,237	111.06	22,865.15	183.405
9	81,903	404	15,135	621	1,842	2.3	18,437	111.89	24,120.04	184.781
10	83,330	347	15,862	730	1,176	2.4	13,163	112.78	21,920.46	184.792
11	84,213	357	16,437	718	1,213	2.5	8,211	113.37	22,351.06	182.523
12	78,364	320	20,825	622	818	2.4	4,644	112.45	20,014.77	180.684
2019 (H31) 1	67,087	342	16,322	666	1,684	2.5	5,743	108.95	20,773.49	180.567
2	71,966	401	14,345	589	1,955	2.3	25,928	110.36	21,385.16	183.091
3	76,558	533	16,544	662	971	2.5	27,871	111.21	21,205.81	183.632
4	79,389	315	15,354	645	1,069	2.4	P 17,074	111.66	22,258.73	183.527
(R1) 5	72,581	327	15,631	695	1,075	2.4	P 15,948	109.83	20,601.19	182.033
6	81,541	367	P 15,977	734	870	P 2.3	P 12,112	108.06	21,275.92	181.001
前月比%	12.3	12.1	0.9	5.6	-19.1	-0.1 ※イント	-	-1.6	3.3	-0.6
前年同月比%	0.3	-2.2	-0.5	6.4	-60.4	-0.1 ※イント	-0.0	-1.8	-4.6	-2.4
資料出所	国土交通省	自販協連合会	経済産業省	東京商工リサーチ	総務省	財務省	日本銀行	日本経済新聞社		

※百貨店・スーパー販売額の前月比は季節調整済増減率、前年同月比は既存店ベース増減率

※企業倒産は負債総額1千万円以上

※日経平均株価は年末、月末の終値ベース

# 青森県の主要経済指標・各種統計 1

年次及び月	人口 (推計)		銀行券 受払高 (支払-受入) (億円)	県内金融機関		鉱工業 生産指数 (季調済) 2010年=100	公共工事請負額		企業倒産 (負債額1,000万円以上)	
	(人)	社会動態(人) (転入-転出)		実質預金 (億円)	貸出残高 (億円)		(百万円)	うち県分 (百万円)	件数 (件)	負債総額 (百万円)
2014 (H26)	1,321,895	-6,448	1,957	49,114	27,890	106.9	169,394	58,023	66	9,485
2015 (H27)	1,308,265	-6,278	2,749	49,540	28,849	107.8	151,727	58,460	52	6,894
2016 (H28)	1,293,681	-5,906	2,929	50,154	29,878	110.3	177,083	65,673	49	12,227
2017 (H29)	1,278,581	-5,722	3,073	51,283	30,828	110.3	171,167	71,311	44	8,926
2018 (H30)	1,262,815	-5,820	3,292	51,955	30,877	109.9	158,202	60,779	44	9,426
2018 (H30) 4	1,266,889	637	365	51,515	30,338	113.2	22,681	13,280	4	905
5	1,266,707	-44	122	51,063	30,130	112.1	19,264	3,233	3	148
6	1,265,852	-164	327	51,947	30,232	111.9	16,142	6,696	4	201
7	1,264,951	-18	258	51,037	30,316	111.2	22,174	5,956	4	305
8	1,264,201	235	242	51,197	30,412	109.4	16,791	5,066	3	269
9	1,263,717	-193	198	51,565	30,906	108.2	20,239	10,662	3	4,788
10	1,262,815	113	381	51,165	30,833	109.6	13,024	4,722	5	1,167
11	1,262,049	-36	294	50,968	30,814	109.5	7,807	2,557	1	13
12	1,261,169	-147	701	51,768	30,892	108.7	5,293	754	2	114
2019 (H31) 1	1,260,124	-111	-110	50,854	30,765	110.5	3,864	1,329	1	51
2	1,258,753	-586	239	51,165	30,820	111.0	2,855	902	3	80
3	1,257,081	-5,772	275	51,955	30,877	107.4	8,063	5,616	4	565
4	1,250,444	856	637	52,084	30,485	110.8	30,114	9,352	1	254
(R1) 5	1,250,387	-68	-74	51,664	30,183	P 114.9	19,489	3,561	10	721
6	1,249,314	-272	329				19,754	5,459	6	508
7	1,248,340								14	3,319
前月比 %	-0.1	-	-	-0.8	-1.0	3.7	1.4	53.3	133.3	553.3
前年同月比 %	-1.3	-	-	1.2	0.2	1.5	22.4	-18.5	250.0	988.2
資料出所	県統計分析課		日本銀行青森支店			県統計分析課	東日本建設業保証	東京商工リサーチ		

※人口の年は10月1日、月は各1日現在の数値、社会動態の年次は前年10月から当年9月まで、月は月中の計数  
 ※日銀券の年次計数は年度累計 ※実質預金は手形・小切手を除く、預貸金の年次計数は年度末残高  
 ※鉱工業生産指数の年次および前年同月比は原指数による ※公共工事請負額の年次の欄は年度計数

年次及び月	新車登録 台数(台)	乗用車 登録届出 台数(台)	新設住宅着工戸数			新設住宅 床面積 (㎡)	消費者 物価指数 2015年=100 (青森市)	勤労者世帯 家計消費 支出額(円) (青森市)	毎月勤労統計調査	
			総戸数 (戸)	うち持家 (戸)	うち貸家 (戸)				現金給与 総額(円)	総実労働 時間(時間)
2014 (H26)	31,736	52,046	5,469	3,387	1,721	575,085	99.8	259,815	254,237	155.1
2015 (H27)	30,680	44,577	5,686	3,336	1,820	585,836	100.0	255,240	251,066	154.6
2016 (H28)	31,217	43,396	6,494	3,597	2,256	650,614	99.5	265,004	252,236	152.5
2017 (H29)	33,776	46,625	6,509	3,703	2,234	651,725	100.5	269,221	262,558	155.5
2018 (H30)	32,856	45,769	6,431	3,813	1,901	655,052	101.9	274,905	258,198	153.9
2018 (H30) 4	2,782	3,855	617	450	107	70,734	101.4	311,470	219,702	155.3
5	2,253	3,228	576	362	149	59,074	101.5	242,376	224,782	151.5
6	2,906	3,941	662	408	180	69,475	101.4	297,775	333,277	159.1
7	3,186	4,249	699	356	233	68,023	101.4	296,007	273,443	157.6
8	2,106	2,931	530	347	164	54,516	101.9	285,168	242,868	152.6
9	2,897	4,128	676	386	240	66,814	102.1	271,568	228,024	153.1
10	2,666	3,684	550	340	153	56,817	102.6	254,477	224,763	158.1
11	2,746	3,634	644	355	216	62,561	102.5	283,832	237,535	157.9
12	2,321	2,974	508	275	171	50,466	102.0	309,005	439,416	152.9
2019 (H31) 1	1,966	2,773	320	161	107	30,057	102.2	289,682	226,406	140.4
2	2,630	3,729	475	169	262	40,133	102.1	268,675	222,455	144.8
3	4,375	5,852	470	252	177	44,579	102.1	374,056	228,090	148.1
4	2,969	4,041	630	478	93	75,535	102.2	277,800	229,855	152.9
(R1) 5	2,378	3,415	514	379	87	97,405	102.4	289,743	240,340	143.6
6	2,879	3,809	596	435	115	65,843	102.5	334,732		
前月比 %	21.1	11.5	16.0	14.8	32.2	-32.4	0.1	15.5	4.5	-6.1
前年同月比 %	0.9	-3.3	-10.0	6.6	-36.1	-5.2	1.1	12.4	6.9	-5.2
資料出所	自販協連合会青森県支部		県建築住宅課			県統計分析課	総務省	県統計分析課		

※毎月勤労統計調査は事業所規模5人以上を対象

## 青森県の主要経済指標・各種統計 2

年次及び月	百貨店・スーパー 販売額 (百万円)	コンビニエンスストア 販売額 (百万円)	家電大型 専門店 販売額 (百万円)	ドラッグ ストア 販売額 (百万円)	ホーム センター 販売額 (百万円)	りんご			漁業 (八戸港水揚高)	
						出荷量 (トン)	市場価格 (円/kg)	産地価格 (円/kg)	数量 (トン)	金額 (百万円)
2014 (H26)	177,668	-	28,532	40,073	54,090	296,117	319	180	120,530	22,969
2015 (H27)	172,465	-	26,335	43,523	54,193	298,255	329	209	113,359	19,699
2016 (H28)	168,443	94,851	26,540	47,970	51,990	294,359	306	222	99,312	23,436
2017 (H29)	169,344	99,007	26,738	51,086	51,254	262,705	335	214	99,972	19,990
2018 (H30)	168,037	100,902	26,675	54,561	50,377				108,192	18,120
2018 (H30) 4	13,238	8,122	1,872	4,561	4,934	28,206	344	305	413	174
5	13,467	8,370	1,842	4,468	4,802	20,398	404	-	860	276
6	13,461	8,411	1,972	4,601	4,168	12,095	446	-	1,072	538
7	14,164	9,256	2,676	4,804	4,472	8,411	515	-	17,619	2,142
8	15,079	9,448	2,170	4,883	4,559	1,991	546	-	6,250	1,311
9	13,097	8,743	2,154	4,588	3,863	20,512	309	216	16,799	2,899
10	13,308	8,420	1,982	4,606	4,151	24,718	297	253	23,592	2,961
11	13,418	8,167	2,044	4,450	4,266	22,322	282	219	24,003	3,711
12	17,941	8,920	2,902	4,925	5,142	27,152	328	174	13,954	2,336
2019 (H31) 1	13,855	8,181	2,539	4,753	3,265	34,827	298	169	787	334
2	12,409	7,404	1,783	4,366	2,847	35,404	278	163	1,294	700
3	14,461	8,329	2,697	4,463	3,644	34,136	266	151	427	149
4	13,349	8,432	1,877	4,760	4,701	31,397	281	255	709	240
(R1) 5	13,406	8,804	2,027	4,870	5,028	20,317	349	-	988	249
6	P 13,610	P 8,565	P 2,084	P 4,874	P 4,127	13,824	394	-	847	241
前月比 %	-	-2.7	2.8	0.1	-17.9	-32.0	12.9	-	-14.3	-3.2
前年同月比%	2.7	1.8	5.7	5.9	-1.0	14.3	-11.7	-	-21.0	-55.2
資料出所	経済産業省					県りんご果樹課			八戸市水産事務所	

※百貨店・スーパー販売額の前年同月比は既存店ベース増減率

※りんご年次欄はりんご年度の計数

年次及び月	有効求人 倍率(倍)	新規求人 倍率(倍)	雇用保険		貿易 (青森港)		貿易 (八戸港)		青森県景気 ウォッチャー 調査 (現状判断DI)	おおぎん BSI
			受給人員 (人)	受給金額 (百万円)	輸出 (百万円)	輸入 (百万円)	輸出 (百万円)	輸入 (百万円)		
2014 (H26)	0.81	1.16	-	11,408	7,733	34,824	132,609	177,830	-	-
2015 (H27)	0.95	1.34	-	10,654	5,913	25,041	129,394	192,285	-	-
2016 (H28)	1.13	1.57	-	9,586	4,577	14,834	125,646	147,564	-	-
2017 (H29)	1.27	1.75	-	9,049	5,701	22,860	123,846	160,929	-	-
2018 (H30)	1.30	1.82	-	8,791	6,945	31,401	115,235	220,012	-	-
2018 (H30) 3	1.31	1.80	5,690	711	929	3,120	12,511	10,510	-	-
4	1.30	1.77	5,569	669	417	2,310	7,372	16,235	48.2	-6.2
5	1.29	1.77	6,406	824	404	1,725	7,843	56,840	-	
6	1.29	1.79	5,928	678	759	3,767	12,709	13,247	-	
7	1.29	1.78	6,302	720	533	2,023	9,001	18,454	47.8	-16.3
8	1.30	1.82	6,479	791	555	1,307	6,144	12,812	-	
9	1.29	1.81	5,393	589	667	4,435	11,353	17,657	-	
10	1.30	1.74	5,417	639	860	2,456	11,830	14,730	44.3	0.0
11	1.32	1.88	5,141	595	175	2,966	12,424	18,916	-	
12	1.31	1.79	5,347	596	726	1,432	4,163	14,943	-	
2019 (H31) 1	1.35	1.99	8,193	1,268	322	3,629	10,106	15,430	46.7	-13.0
2	1.29	1.78	6,143	794	348	3,077	9,135	10,632	-	
3	1.26	1.74	5,269	628	229	1,942	15,503	14,782	-	
4	1.29	1.82	5,505	673	899	6,306	8,097	15,277	47.8	-12.2
(R1) 5	1.23	1.61	5,887	734	386	4,970	9,333	15,976	-	
6	1.21	1.58	5,865	654	588	6,137	14,576	10,604	-	
前月比 %	-0.02 ポイント	-0.03 ポイント	-0.4	-10.9	52.3	23.5	56.2	-33.6	1.1 ポイント	0.8 ポイント
前年同月比%	-0.08 ポイント	-0.21 ポイント	-1.1	-3.6	-22.6	63.0	14.7	-17.6	-	-
資料出所	青森労働局				函館税関、青森支署・八戸支署				県統計分析課	青森銀行

※求人倍率の年次の欄は原数値の年度計数

※雇用保険の年次の値は年度計数

青森県の主要経済指標・各種統計 3

☆県内主要都市・地区各種指標

年次及び月	観光施設 入込客数 (人)	宿泊者数 (人)	青森空港 乗降客数 (定期便) (人)	パスポート 発行件数 (件)	三市の宿泊者数 (人)			地区 BSI		
					青森市 (12施設)	弘前市 (17施設)	八戸市 (18施設)	青森	津軽	県南
2014 (H26)	9,881,300	1,498,169	903,389	13,559	374,463	487,827	505,045	-	-	-
2015 (H27)	9,987,354	1,497,981	981,175	13,298	373,938	518,399	462,499	-	-	-
2016 (H28)	9,885,612	1,512,154	1,061,995	14,904	378,634	535,657	459,793	-	-	-
2017 (H29)	9,980,972	2,359,381	1,137,982	15,396	377,619	553,031	486,259	-	-	-
2018 (H30)	9,935,874	2,384,592	1,172,886	16,565	381,907	534,367	491,088	-	-	-
2018 (H30) 3	531,632	159,757	89,866	1,537	25,747	36,180	35,420	-4.7	-22.6	5.0
4	940,196	181,362	94,237	1,244	29,616	48,459	37,000			
5	1,037,231	203,820	99,214	1,317	32,557	44,991	40,895			
6	917,450	209,003	99,593	1,179	32,881	45,722	42,694	-18.0	-29.6	-2.5
7	934,215	219,043	101,852	1,488	33,330	45,951	42,928			
8	1,547,248	274,365	125,183	1,842	45,360	62,396	51,349			
9	907,260	226,657	104,980	1,168	34,973	47,950	43,731	3.5	-1.5	-2.5
10	887,527	251,418	110,976	1,482	42,597	55,266	47,083			
11	643,703	187,733	104,042	1,265	26,723	41,188	43,392			
12	643,281	162,972	85,903	1,269	24,390	37,673	40,020	-8.3	-24.6	-8.6
2019 (H31) 1	479,267	155,394	86,981	1,610	24,429	32,159	36,705			
2	457,901	158,426	81,277	1,411	24,259	34,254	35,455			
3	523,721	160,677	102,033	1,493	22,737	36,368	39,240	-10.3	-21.7	-6.1
4	980,094	186,863	95,074	1,231	27,109	47,466	42,180			
(R1) 5	1,110,532	214,657	109,202	1,394	30,048	49,256	45,434			
6	879,417	208,836	101,721	1,505	31,094	43,985	44,148	-	-	-
前月(期)比%	-20.8	-2.7	-6.9	8.0	3.5	-10.7	-2.8	-2.0ポイント	2.9ポイント	2.5ポイント
前年同月(期)比%	-4.2	-0.7	2.1	27.7	-5.4	-3.8	3.4	-	-	-
資料出所	県観光企画課		空港管理事務所	県民生活文化課	県観光企画課			青森銀行		

※観光施設入込客数は県内35施設合計

※宿泊者数は県内79施設合計(2016年以前は青森市、弘前市、八戸市、むつ市53施設)

年次及び月	推計人口 (人)			新車(登録車)販売台数(台) (大型特殊車除く)			新設住宅着工戸数 (戸)		
	青森市	弘前市	八戸市	青森市	弘前市	八戸市	青森市	弘前市	八戸市
2014 (H26)	290,646	178,279	232,860	7,669	3,704	6,564	1,445	761	1,197
2015 (H27)	287,648	177,411	231,257	7,424	3,598	6,101	1,378	871	1,395
2016 (H28)	284,754	175,900	229,527	7,829	3,578	6,411	1,761	1,084	1,463
2017 (H29)	282,032	174,287	227,778	8,324	4,119	7,049	1,718	1,075	1,519
2018 (H30)	279,133	172,447	225,463	8,288	3,783	6,695	1,479	1,069	1,441
2018 (H30) 4	279,278	172,500	225,836	685	294	636	145	98	108
5	280,088	173,016	225,821	534	258	474	146	90	84
6	279,902	172,910	225,816	731	332	573	159	96	181
7	279,646	172,807	225,724	894	346	650	134	139	178
8	279,461	172,694	225,647	551	239	446	104	121	96
9	279,387	172,550	225,597	715	368	599	163	105	181
10	279,133	172,447	225,463	626	302	564	140	78	116
11	279,033	172,339	225,407	682	265	613	127	126	114
12	278,897	172,208	225,249	668	260	434	110	67	143
2019 (H31) 1	278,650	172,087	225,140	416	269	418	86	51	85
2	278,299	171,902	224,983	628	372	561	130	40	90
3	277,962	171,643	224,771	1,146	622	813	111	94	101
4	276,180	170,508	223,720	798	300	633	181	90	114
(R1) 5	276,823	170,863	223,822	574	276	480	109	66	131
6	276,567	170,766	223,666	732	363	591	168	75	112
7	276,309	170,706	223,516						
前月比%	-0.1	-0.0	-0.1	27.5	31.5	23.1	54.1	13.6	-14.5
前年同月比%	-1.2	-1.2	-1.0	0.1	9.3	3.1	5.7	-21.9	-38.1
資料出所	県統計分析課			自販協連合会青森県支部			県建築住宅課		

※人口の年は10月1日、月は各1日現在の数値。